

編集委員のページ



戸田 登美子

甲南女子大学看護リハビリテーション学部看護学科 講師

看護師として病院で勤務した後、日本看護協会国際部、看護系大学等で勤務。
2019年より現職。

新型コロナウイルスと温故知新

新型コロナウイルスは、経済発展や権利が特定の地域、人々に集中していた今までの世界から、気に留められることの少なかった人々、仕事、地域に注目する世界へ変容させようとしているようです。何気ない日常生活が、どれだけ多くの人々、多様な仕事によって支えられてきたか、そして彼らに、いかに気を留めていなかったかを、コロナにより実感しています。コロナは、一極集中型の繁栄、マイノリティの排除や差別といった私たちが意識・無意識のうちに築き上げた社会から、多様性の理解、受容、そしてより統合された社会へ再構築するよう警告しているのかもしれない。

コロナ対策においては、とにかく、患者に対応している医療従事者の実情が注目されがちです。しかし、vulnerableとされる人々をコロナから守ることは、最前線に立つ医療従事者だけの任務ではありません。これは、地球市民として、私たち全員に課せられた任務でもあると思います。そして、私たちがすべきことは、まさにナイチンゲール(1820-1910)が唱えた換気、環境、日々の体調観察に他なりません。

2020年は、Nursing Nowでも紹介されているように、ナイチンゲールの生誕から200年目にあたります。私たちは、過去から学び、現在を洞察することで、未来に希望を抱き、よりよい世界を築くことができます。最先端の科学に希望を抱くとともに、コロナが私たちに突きつける意味を先人の知恵に温め、ポストコロナの世界へ一歩踏み出していきたいと思います。

寄付者のご芳名

当協会にご寄付いただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。

(匿名希望を除く。50音順、2020年8月末現在)

この紙面をかりて厚くお礼申し上げます。

池上 志津 様
北山 瑞世 様
木下 誠一 様
國司 有香 様
糸原 宗一郎 様
新居 誠一郎 様
吉川 貴子 様
サラヤ株式会社 様
(一社)生産技術振興協会 様